

道の駅「くにみ」が新たに登録

国見町伊美の農産物直売所「ちよるちよる市場」が、道の駅「くにみ」として新たに登録され、8月11日(金)市役所応接室で、照山俊一市長からちよるちよる市場の会・前後泉会長に道の駅登録証が伝達されました。

「ちよるちよる市場」は、今年4月27日にオープン。地元で取れた新鮮な農作物や活魚や花などが販売されており、隣接する県立ごんげんふるさと自然公園にはキャンプ場があり、来年夏に海水浴場がオープンする予定です。

市内の道の駅は、「くにさき」(国東町小原)に続き2カ所目、県内では、今回登録された「ながゆ温泉」「おおの」を合わせて20カ所となりました。

前後泉会長の話。「地元の農産物を中心に、品揃えを豊富にして、多くの方に訪れていただけるよう頑張りたい。」



▲照山市長から登録証を受け取った前後会長(写真中央)

くにさき、ブランドの和牛生産をめざして

第1回国東市畜産品評会

畜産技術の振興を図るため、合併後初となる第1回国東市畜産品評会が、8月30日(水)午前9時から、国東町浜崎の国東市畜産公社で、市内の畜産農家ら約50名が参加して開催されました。

市内から若雌の部12頭、育成の部16頭の計28頭の和牛が出品され、岐部和生実行委員長のあいさつに続いて、大分家畜保健衛生所、全国農業協同組合連合会大分県本部、大分県東部振興局の職員など5名の審査員による家畜審査が行われました。

審査の結果、若雌の部では、清原誠二郎さん(安岐町)の「きよみ5」号、育成の部では、中本正勝さん(安岐町)の「ひめゆり」号がそれぞれグランドチャンピオン賞に輝きました。



▲5名の審査員が、各部位の発育状況や毛並みなどを入念にチェックしました

鹿島戦一さん(国東町小原) 4度目の林野庁長官賞受賞

全国乾椎茸品評会・茶花どんこ部門

国東町小原の鹿島戦一さん(67)が、第54回全国乾椎茸品評会の茶花どんこ部門で、林野庁長官賞を受賞しました。2002年以来、通算4度目の林野庁長官賞受賞で、今回、市内ではただ一人の受賞となりました。

鹿島さんは、しいたけを作りはじめて30年を超えるベテラン。また、現在は国東町椎茸生産小組の会長や、大分しいたけ源兵衛塾の技術アドバイザーとして技術指導なども行っています。

鹿島さんは、「次は、農林水産大臣賞を受賞できるように頑張ります。」と話しています。



▲照山市長に報告に訪れた鹿島さん(写真中央)と大分県椎茸農業協同組合国東支部・光永和男支部長

地域の農地は地域で守ろう

農事組合法人よしき設立総会

8月25日(金)午後5時30分から国東町吉木公民館で、農事組合法人「よしき」の設立総会が開催されました。

同組合は、農地の高度利用、生産性の向上を目的に平成17年11月に「吉木麦・大豆生産組合」を設立、乗用管理機等を導入し麦・大豆の作業受託を行ってきました。しかし、水田農業ビジョンに対応した効率的で生産性の高い営農体制、集落営農体制の確立を図り、本格的な農作業を行う上での基盤強化を図るため法人化をめざし、国東市としては、6月に設立された「いけのうち」(武蔵町)、「うらて」(国見町)に続いて3番目の農事組合法人の設立となりました。



▲代表理事組合長に選任された田口義高さん



▲設立総会のようす